

グループ別ポスター

Aグループ：中禅寺湖エリア

日光!! 日本発脱炭素観光地プロジェクト

NIKKO!! The FIRST Decarbonized Tourist Destination Project in Japan

- Aグループのエリア紹介
AREA INTRODUCTION
- インタビュー調査
INTERVIEW
- 課題
ISSUES
- 考えられる対策
EFFECTIVE MEASURES



Amra Oum - Cambodia
Yang Han- China
Tengku Nur Iqra-Malaysia
Sawada Kotono-Japan
Udani Balasooriya - Sri Lanka

日光!! 日本発脱炭素観光地

背景 (Background)

日本は2050年を目途に、温室効果ガスの排出を全体としてゼロ (zero greenhouse gas emission) にすると発表しており脱炭素社会を実現するために、さまざまな取り組みが始まっている。

しかし、(But)

コロナ禍で観光に公共交通機関を使う人の減少 (the number of people using public transportation decrease) 自家用車の観光者の増加による二酸化炭素の増加 (increase in carbon dioxide)

「日光!! 日本発脱炭素観光地プロジェクト」により脱炭素社会に適応した日光の観光業を実現する

Aグループのエリア紹介(1)

中禅寺湖エリア (Lake Chuzenji)



- 中禅寺湖は2万年前の男体山噴火により渓谷がせき止められてきたといわれている
- Lake Chuzenji or Sea of Happiness
- Created 20,000 years ago when Mount Nantai (2,484 m) erupted and blocked the river
- 面積は11.62km²で、周囲は25km
- Surface area of 11.62 km² and a circumference of 25 km



Aグループのエリア紹介(2)

イタリア大使館別荘記念公園 (Italian Embassy Villa Memorial Park)



- 1928年に建てられ1997年まで歴代の駐日大使の別荘として利用されていた。
- Built in 1928 and used by the successive ambassadors until 1997



- チェコの建築家、アントン・レーモンドが建造
- Designed by Czech-American architect Antonin Raymond (1888-1976)

- 日本のモダニズム建築に大きな影響を与えた
- Had a strong influence on modern Japanese architecture

Aグループのエリア紹介(3)

英国大使館別荘記念公園 (British Embassy Villa Memorial Park)



Ernest Satow, former British Embassy Villa



- 1986年にアーネスト・サトウの個人別荘として建てられた
- Built in 1896 as the private villa of Ernest Satow
- この山荘は2008年まで英国大使館別荘として利用されていた
- The mountain villa was turned into the British Embassy Villa and used until 2008.



- 2階の広縁からは、サトウが愛した中禅寺湖畔の「絵に描いたような風景」を満喫できる
- From the spacious veranda on the 2nd floor, you can enjoy the most "picturesque landscape" of Chuzenji lakeside Satow loved

インタビュー調査 INTERVIEW

調査目的：日光市がより魅力的な観光地になるための調査

調査対象：20代~70代の観光客20組

| 日本人 Japanese | アメリカ American | ベトナム Vietnam | イスラエル Israeli | スウェーデン Swedes | ニュージーランド New Zealand | 中国 Chinese | ハンガリー Hungarian |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------------|---------------|--------------------|
| 9人 | 4人 | 2人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 |

調査実施エリア：中禅寺湖エリア (Lake Chuzenji area)

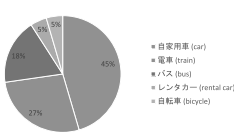
- 華厳の滝 (Kegon falls)
- 英国大使館・イタリア大使館別荘記念公園

(Villa of Embassy of Britain & Villa of Embassy of Britain Italy)



インタビュー結果 INTERVIEW RESULTS

交通手段 (means of transportation)



- ・奥日光は基本的に車でないと来られない
- ・電車とバスを併用している人もいる

日光で感じた環境問題 (about environmental issues in Nikko)

- 交通渋滞 (traffic congestion)
- ゴミ問題 (trash problems)
- 買物が不便 (inconvenient for shopping)

交通渋滞と答える人が5割以上
特に紅葉の時期は観光客が集中する

インタビュー結果 INTERVIEW RESULTS

日光での旅行がより良いものになるためには (To make trip to Nikko better)

- 日光駅からの交通機関を増やしてほしい (to increase transportation from Nikko station)
- バスで来たため行ける場所が限られてしまった (places you can go are limited when visiting by bus)
- 紅葉の時期が短い (autumn leaves season is short)
- 温暖化による気候変動の影響
- 英語の案内を増やしてほしい (to increase English guide)

日本人は自家用車で観光することが多いが、外国人は公共交通機関を利用する人が多い
自家用車がない人のためにレンタカーがあれば自分のペースで観光できる

短い期間に人が集中してしまう
交通渋滞の原因に

日光は外国人観光客が多く訪れる
英語のパンフレットなどはあるが、英語の看板は少ない

課題 ISSUES

混雑する駐車場
Crowded parking lot

50%

半分の方は車できませんでした!

10/20

駐車する台数の低減
景観の向上

- 交通渋滞
Traffic jam
- 歩行者環境の悪化
Obstacles for pedestrians
- 自然への悪影響
Environmental damage



混雑している駐車場

入庫待ちの行列

考えられる対策 EFFECTIVE MEASURES

駅からEV自動車以外の使用を原則禁止

Only EV cars are allowed from the station

EV自家用車の使用を許可する

EVの乗合バス・タクシーを導入
例：UBERタクシー

ゾーン別し、入場料金を高くする

観光客が不便にならない用に様々な選択を設けることが大事である。

自動車会社によるEVレンタカー業者を設置

Set up an EV car rental shops

自動車メーカーにビジネスチャンスを与える事で、EVレンタカー業者を設置してもらう。

NISSAN

HONDA

栃木県内にHONDAとNISSAN 2つの工場があることは魅力である。

太陽光を使ったEV充電スタンド・蓄電池を設置

Set up solar EV charging stands and storage batteries

EV 200V

観光客に安心して観光できる環境を整える。

Bグループ：戦場ヶ原エリア

「奥日光の自然を活かした観光地づくりを留学生と考える」プロジェクト

提案

外国人に奥日光の魅力を配信する

Bグループメンバー：

1. Batsukh Unubileg (モンゴル)
2. ウ・メイリン (中国)
3. トウ・ブンキン (中国)
4. ジム・シアンリー (カンボジア)
5. ドン・グエンコイ (ベトナム)

令和3年12月5日

1. 戦場ヶ原

- ・ 森あり、湿原あり、滝ありと自然の変化に富んだコース。
- ・ 途中ラムサール条約に登録されている湿原や日光連山を望む事が出来ます。
ラムサール条約は1971年2月2日にイランのラムサールという都市で開催された国際会議で採択された、湿地に関する条約です。



2. フィールドワーク



2.1 フィールドワーク参加による問題点

- ・ パーキング
- ・ レストラン/ホテル
- ・ 雨/泥
- ・ 休憩所
- ・ トイレ
- ・ 忘れ物/ごみ
- ・ (工事ができない)

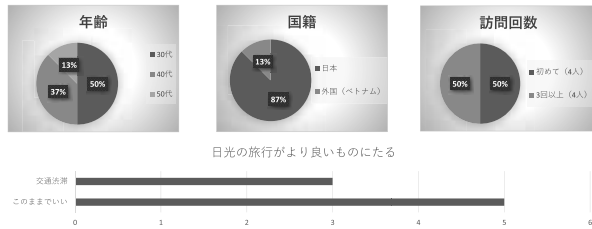
解決不可能理由
政府機関
資金不足

→

ゴミの問題が気になった

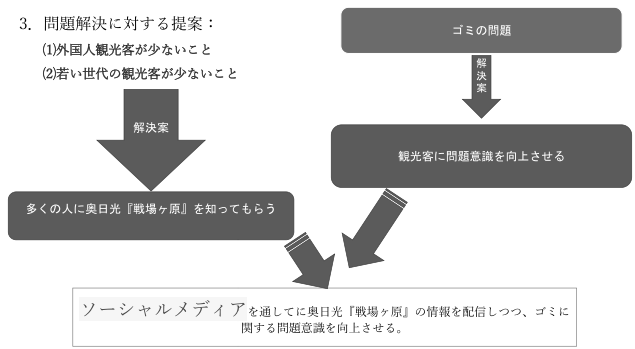
2.2 アンケート調査による問題点

協力者：8人



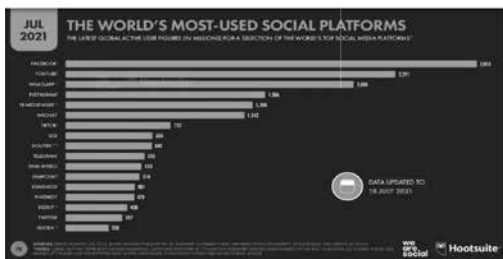
- 問題
1. 外国人観光客が少ないこと (現在コロナの影響も考えられる)
 2. 若い世代の観光客が少ないこと

3. 問題解決に対する提案：
- (1)外国人観光客が少ないこと
 - (2)若い世代の観光客が少ないこと



ソーシャルメディアを使用する理由

4. 提案への説明



現在、公開されている日光の情報を配信するアプリ

5. 自然をどうやって守る？

提案：

- アプリを用意して、旅行で来たお客さんに、情報が伝わる。
- ソーシャルメディアで環境問題教育、自然を守る意識を向上させる。
- 戦場ヶ原の魅力ポイントをソーシャルメディアで発信して、豊かな自然を守り続けるのを提唱する。

6. まとめ

- ・ 戦場ヶ原は豊かな自然風景を持ち、現代社会で広く使われているソーシャルメディアを利用して、環境を保全する意味について学び、そして私たちがどうやって行動するかを考える。
- ・ ソーシャルメディアと環境配慮が結びつきやすい、普及しやすい。
- ・ 自ら環境意識を高めることができる。



来訪者が奥日光に楽しめるための提言

Cグループ：ヘンシータイ、ラトウ、ノビラピッサパー、カリライブラヒム、イエンチャンエン、石原宇法

来訪者が奥日光に楽しめるための提言



Cグループ
ヘンシータイ、ラトウ、
ノビラピッサパー、
カリライブラヒム、
イエンチャンエン、石原宇法

プロなガイドさんによる解説を聞く
機会があります。

温泉の秘密も知ることができます。

奥日光の自然景色を楽しめること
ができます。

動物との出会い、間近で観察でき、
一緒に写真を撮ることができます。

日光市への旅行者に関する調査

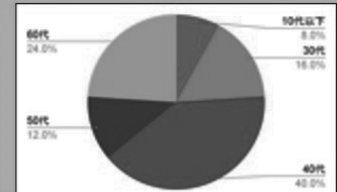
対象：湯ノ湖への旅行者

方法：湯ノ湖エリアに訪問した観光客に対して街
頭インタビューを実施

回答者：25人

②旅行者の年代別データ

①旅行者の 男女の割合



湯ノ湖エリアへの旅行者に関する調査の結果

①どのような交通手段で旅行を
していますか？



旅行者のコメント：バスが安い、
渋滞が多い、駐車場が足りない

②誰と旅行していますか？



旅行者のコメント：旅館が閉まっている、
旅館が少ない

③何日目の訪問でしょうか？



旅行者のコメント：観光客が多い、
観光客が少ない

⑤日光地域に来て、環境問題について何か感じたり、
あるいは影響を受けましたか？

はいと回答した旅行者は9人
・交通渋滞 (3人)
・ごみ (5人) → ごみ箱が少ない、
ごみは持ち帰る必要がある
・水質汚染 (1人)

⑥旅行を勧誘してどう評価しますか？今回の旅行に
ついて総合的にどう思いますか？



提言

- 他言語による分かりやすい案内板を設置。
- 日光特有の伝統文化を発掘して、それをめぐるイベントとPRを行う。
- 子供が遊べる場所、雨の日でも楽しめる場所を作る。(アンケートから)
- 県内外の業者・会社と連携して、多様なサービスを提供できるような環境を整備する。
- 既設便器を改修する一方、高齢者・障害者向けの多目的トイレを増設する。



⑤今回の旅行でどこを訪れて
いますか？

- 華厳滝 (11人)
- 日光東照宮 (7人)
- 中禅寺 (5人)
- 湯元の温泉、温泉寺 (5人)
- 戦場ヶ原、戦場ヶ原の展望台 (2人)
- 湯ノ湖 (2人)
- 竜頭の滝、足尾銅山、白根山 (1人)

⑥今回の旅行の目的は何でしょうか。
体験型アクティビティを利用しましたか？

- 利用したと回答した旅行者は4人
(遊覧船、登山ガイド)
- 旅行の目的
1位. 観光 (15人)
2位. のんびりしたい (6人)
3位. ハイキング (3人)
4位. 歴史を学ぶため (1人)

⑦コロナ前とコロナ後(コロナ禍)で旅行
先選びに変化はありましたか？
・無いと回答した旅行者 (8人)

- ・あると回答した旅行者 (17人)
→どのような変化がありましたか？
①国内、県内の中で決めるようになった (14人)
②人が多くないところを選んだ (1人)
③出かけにくくなった (2人)

旅行者のコメント：
(歴史を学ぶために、)美術館、博物館に行きたい

課題

来訪者がほとんど日帰りや夜にホテルに泊まる人が少ないのが現状です。このため、どうやって来訪者を日光に泊まらせてもらうのか、一番大きな課題です。

発見された問題点

- 案内場所やガイド図がない。
- 特色あるイベントがない。
- 観光関連施設不足(温泉、自動販売機、お土産屋さん、喫茶店、レストラン、ATMなど)
- お手洗いが少なく、既設便器も古い。

